

令和8年9月吉日

各教育委員会教育長 様
各国・公・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関係者 各位

第65回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会
埼玉大会 会長 山本 智広

第65回 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 埼玉大会のご案内（最終案内）

令和8年11月19日（木） 理事会・全体会
20日（金） 分科会



氷川神社(大宮)

- 主催** 全日本中学校技術・家庭科研究会 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会
- 後援** 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会
行田市教育委員会 川口市教育委員会 飯能市教育委員会 深谷市教育委員会
久喜市教育委員会 小川町教育委員会
埼玉県連合教育研究会 （公財）日本教育公務員弘済会埼玉支部
- 期日** 令和8年11月19日（木） 理事会・全体会
11月20日（金） 分科会

4 研究主題

「未来社会を切り拓くための資質・能力を育む学習指導の研究」 —問題発見・課題解決と創造する学びを通して—

主題設定の理由

(1) 子供たちは、未来を生き抜く力を身に付けているか？

今から10年前、スマートフォンはすでに普及していたが、AIが人の仕事を代替する社会はまだ遠い未来の話だった。しかし現在、AIは日常の様々な場面で活用され、技術革新は生活や産業の在り方を大きく変えつつある。このような予測困難な時代において、子供たちはどのような力を身に付けるべきなのか。答えが決まっている問題を解くだけではなく、自ら問題を見だし、課題を設定し、解決策を考え、社会をよりよい方向へ導く力が必要とされている。

(2) 埼玉県の実状と課題

こうした社会的背景を踏まえ、埼玉県においても「未来を切り拓く力」の育成が重要視されている。第4期埼玉県教育振興基本計画では、将来の予測が困難な時代において、「社会への主体的な関わり」や「多様な人々との交流」を通じて、新たな価値を創造できる人材を育てることが求められている。

(3) 技術・家庭科が果たす役割

では、このような「未来社会を切り拓く力」をどのように育むべきなのか。その答えのひとつが技術・家庭科である。技術・家庭科では、子供たちが単に知識を得るだけでなく、「試す」「つくる」という実践的な学びを通して、生活や社会の問題を見だし、解決策を創造する力を育むことができる。さらに、子供が学びを自己調整したり、多様な他者と対話をしたりすることができる学びを充実させることで、一人ひとりの発想を尊重しつつ、他者と協力しながらよりよい解決策を生み出す力が育まれる。本研究では、こうした背景を踏まえ、技術・家庭科において技術・家庭科における問題発見・解決的な学習の展開と学習を深める子供の新たな学びの在り方を探究することを目的とする。これにより、子供たちが予測困難な未来社会を自らの手で切り拓いていけるような教育の在り方を明らかにする。

5 日程

【第1日】11月19日（木）

・理事会（集会室1） ・全体会（小ホール） ※ともに RaiBoC Hall

10:30	10:45	11:45	13:00	13:15	13:40	14:40	15:40	16:00
理事研修会		休 憩	全体会					
受 付	研修会		受 付	開会式	提案発表 研究協議 (埼玉)	指導助言	閉会式	

【第2日】11月20日（金）第1～第8分科会 ※時程は分科会ごとに違いがあります。（確認必須）

9:20	9:50	10:40	11:00	11:20	12:20	13:20	13:40	14:40	15:10	15:30
受 付	公開 授業	移動 休憩	開会式	提案発表 研究協議 (埼玉県)	昼食 休憩	指導 助言	提案発表 研究協議 (他都県)	指導 助言	閉会式	

【第2日】11月20日（金）第9分科会

9:20	9:50	10:40	11:00	11:50	12:50	13:10	14:10	14:40	15:00
受 付	公開授業 家庭分野	移動 休憩	公開授業 技術分野	昼食 休憩	開会式	提案発表 研究協議 (埼玉県)	指導 助言	閉会式	

6 全体会指導助言者

○文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

参事官(デジタル学習基盤担当) 付情報教育振興室 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官

渡邊 茂一 様

○文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官

熊谷 有紀子 様

7 会場等

【理事会・全体会】

11月19日(木)

RaiBoC Hall (レイボックホール) 小ホール

〒330-0846 さいたま市大宮区大門町2-118 7F

TEL: 048-641-6131

【交通】

電車でお越しの方

○大宮駅をご利用の場合

JR線・ニューシャトルほか 大宮駅東口より徒歩3分

○自家用車 ※専用の駐車場等はありません。

お車でお越しの場合は、有料の大宮門街駐車場又は近隣の駐車場をご利用ください。

(RaiBoC Hall 利用による割引等はございません)

近隣駐車場にも限りがありますので、できる限り公共の交通機関をご利用ください。



【分科会】

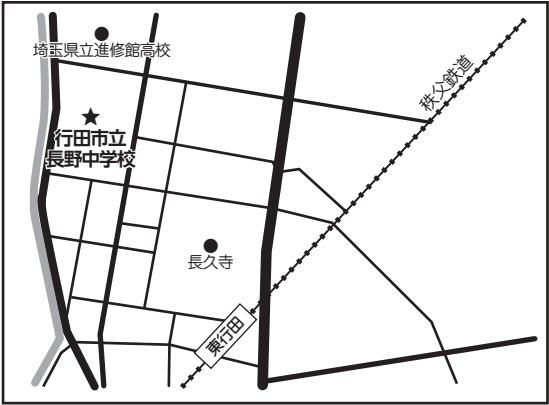
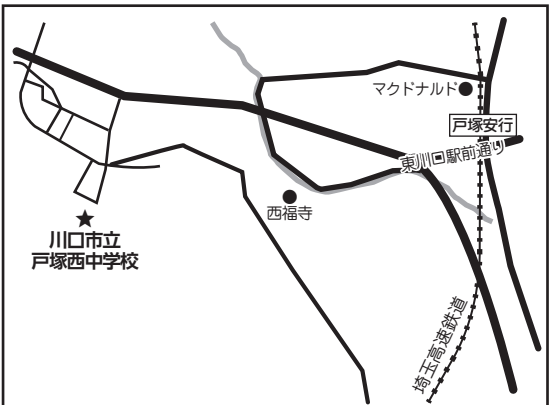
11月20日(金)

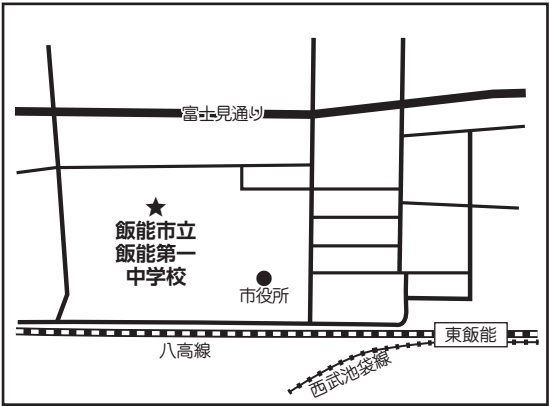
県内8会場で開催

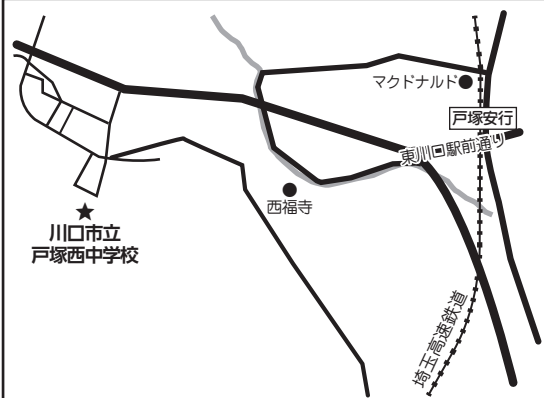
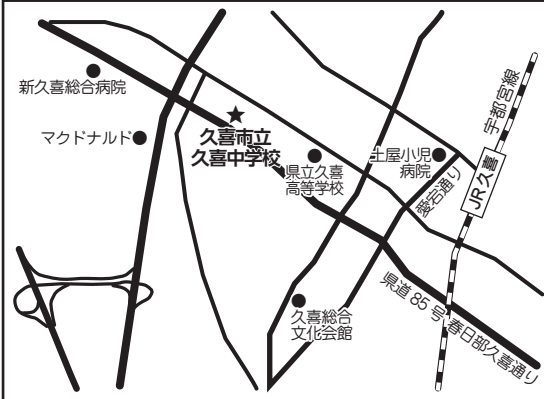
全体会・分科会提案者及び会場詳細

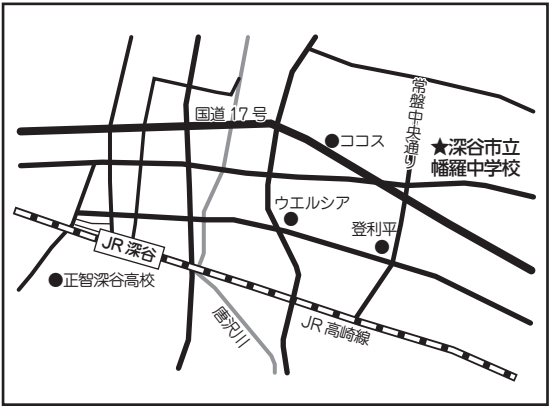
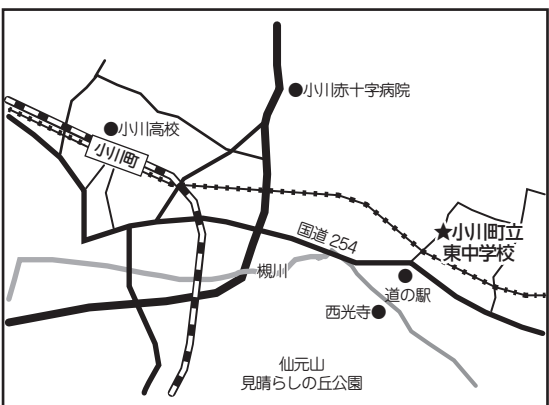
全体会・分科会		提案者		会場及び授業者	他都県発表
全体会	技術分野 家庭分野	熊谷市立富士見中学校 草加市立栄中学校	横田 真澄 三浦 憲子	RaiBoC Hall (レイボックホール)	なし
第1分科会 A 材料と加工の技術		春日部市立緑中学校	鳩貝 拓也	行田市立長野中学校 中嶋 真吾	茨城 群馬
第2分科会 B 生物育成の技術		戸田市立笹目中学校	鈴木 宏一	川口市立戸塚西中学校 内村 昌史	神奈川 千葉
第3分科会 C エネルギー変換の技術		川越市立大東中学校	小林 幸典	飯能市立飯能第一中学校 横山 駿也	長野 栃木
第4分科会 D 情報の技術		深谷市立花園中学校	國本 隆晶	深谷市立岡部中学校 田尻 雅美	東京
第5分科会 A 家族・家庭生活		川口市立上青木中学校	渡辺かおり	川口市立戸塚西中学校 大沢 恵美	栃木 長野
第6分科会 B 衣食住の生活(食生活)		春日部市立飯沼中学校	一條亜津子	久喜市立久喜中学校 浅川 有樹	神奈川 千葉
第7分科会 B 衣食住の生活(衣住生活)		深谷市立上柴東小学校	加藤 立樹	深谷市立幡羅中学校 浅見 夏帆	群馬 茨城
第8分科会 C 消費生活・環境		川越市立城南中学校 川越市立川越第一中学校	片岡 絵理 松本 亜美	小川町立東中学校 飯島 知佳	東京
第9分科会 教育課程	技術分野 家庭分野	さいたま市立美園中学校 さいたま市立植竹中学校	清野 耕平 田中 瞳	さいたま市立春野中学校 竹澤 則乃・渡邊ひろみ	該当なし

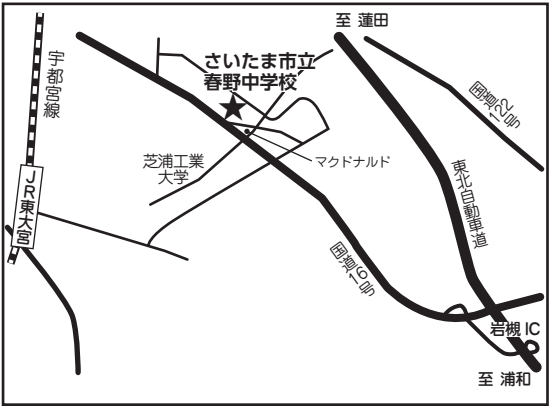
8 分科会案内

第1分科会 A 材料と加工に関する技術	【会場】 学校名：行田市立長野中学校 所在地：行田市桜町 2-1-55 【学校紹介】 本校は、本年度で開校 80 年目を迎えました。学校教育目標『よさ、とりえを伸ばし ともに学び未来を創る』の実現に向けて、生徒に長野中の誇りである 3 つの心「素直な心」「前向きな心」「強い心」を育てています。本年度は、「確かな学力の向上」と「豊かな心の育成」をキーワードとして、生徒が自ら夢を見つけ、その実現に必要な学力を育み、コミュニケーションスキルを身に付けることを目指しています。 【研究の見どころ】 第 1 分科会では、「材料と加工の技術」を、3 年間の問題発見・課題解決学習の基盤として、身近な生活から課題を見だし、技術を用いて解決策を構想・評価する力の育成を目指してきました。既製品の分析や仮組み、3DCAD の活用を通して「技術の見方・考え方」を働かせる学習過程を構築しています。 当日は、生活空間を題材に課題を設定し設計を行います。その中で、材料の特性や社会・環境との関わりを踏まえた最適な技術について考える場面をご覧ください。	TEL：048-554-2240 FAX：048-554-2136 【会場案内】  【交通】 電 車：秩父鉄道 東行田駅より 600m 徒歩約 7 分 【他県提案】 茨城・群馬
第2分科会 B 生物育成に関する技術	【会場】 学校名：川口市立戸塚西中学校 所在地：川口市大字西立野 1000 【学校紹介】 川口市は埼玉県南部に位置し、本校は令和 7 年度に 30 周年を迎えました。27 学級、生徒数 819 人（含特支 5 学級）の学校です。「創る 伸びる 喜ぶ」を校訓とし、ここ数年、非認知能力の育成に力を入れています。部活動も盛んで、10 年連続で川口市中学校体育大会総合成績第 1 位の表彰を受けています。本校は、第 2・5 分科会の会場となっています。 【研究の見どころ】 第 2 分科会では、内容 B「生物育成の技術」の学習を通して、生徒が主体的に課題解決を行えるように系統立てた指導計画の実践研究を進めてきました。最適解が無数に存在する生物育成において生徒が意図的に意思決定や自己調整を行えるよう手立てを講じてきました。 当日は、生徒一人一人がこれまでの学習経験を活かしながら日本の農業の発展を考え、技術の在り方について自分なりの提言をする授業を見ていただく予定です。	TEL：048-298-0088 FAX：048-298-0093 【会場案内】  【交通】 電 車：埼玉高速鉄道 戸塚安行駅徒歩 15 分 【他県提案】 神奈川・千葉

第3分科会 C エネルギー変換の技術	【会場】 学校名：飯能市立飯能第一中学校 所在地：飯能市大字双柳 1-1	TEL：042-972-4157 FAX：042-974-5815
	【学校紹介】 飯能市は埼玉県の南西部に位置し、市域の約7割を森林が占め、西川材の産地としても知られています。本校は生徒数469名、17学級（含特支4学級）の学校です。「自立・共生」を学校教育目標として、誰も独りにしない、分からないことを分からないと言える探究的で協働的な学びによって、一人残らず笑顔と質の高い学びを保障する学校を目指しています。	【会場案内】 
第4分科会 D 情報の技術	【研究の見どころ】 第3分科会では、題材を通して系統性のある指導計画、教材の工夫、教師から生徒への働きかけを意識し生徒が自ら生活や社会の問題を見だし、解決策を構想、実践できる資質・能力を育成してきました。 当日は、題材の終末である「社会の発展と技術」の学習において、これまで学んだ知識・技能を活用して、これからのエネルギー変換の技術について試行錯誤しながら創造する生徒の様子をご覧ください。予定です。また、地区内での先生方の授業実践、教材、掲示物などをブースにて展示、発表いたします。	【交通】 自家用車：圏央道（首都圏中央連絡自動車道）狭山・日高ICより6km 約15分 電車：西武池袋線・JR八高線 「東飯能駅」東口から徒歩9分
	【他県提案】 長野・栃木	
第4分科会 D 情報の技術	【会場】 学校名：深谷市立岡部中学校 所在地：埼玉県深谷市山河 1214	TEL：048-585-2623 FAX：048-585-6055
	【学校紹介】 岡部地区は、埼玉県深谷市西部に位置する豊かな自然と農業が盛んな地域であり、特産の深谷ねぎをはじめとする農産物で有名です。本校は、「夢・ころごしを抱き、感動と笑顔あふれる学校づくり」を掲げ、生徒が主体的に学び、地域とともに成長できる教育活動を推進しています。ICTを活用した授業改善や主体的・対話的な学びの充実にも取り組んでいます。	【会場案内】 
第4分科会 D 情報の技術	【研究の見どころ】 本分科会では、D「情報の技術」（計測・制御）における「技術による問題の解決」に着目し、内容A～Dで学んだ知識を組み合わせ、「統合的な問題」の解決に取り組む授業を通して、未来社会を切り拓くための資質・能力の育成を目指し、研究を進めてまいりました。生徒たちは、グループで「統合的な問題」を解決するシステムの開発に取り組んでいます。題材の学習過程の中に、「中間報告」と「最終提案」の2つの発表場面を設定しています。 当日公開する授業では、中間報告を行います。生徒たちが根拠に基づいて問題を見だし、課題設定を行い、その解決策をポスターセッション形式で発表します。そこで、参観者の皆様と意見交換しながら、自分たちでは気付かなかった改良に向けたヒントに気付く場面をご覧ください。	【交通】 自家用車：関越自動車道「本庄児玉IC」より約10分 電車：JR高崎線「岡部駅」下車 南口より1km 徒歩約10分
	【他県提案】 東京	

第5分科会 A 家族・家庭生活	【会場】 学校名：川口市立戸塚西中学校 所在地：川口市大字西立野 1000 【学校紹介】 川口市は埼玉県南部に位置し、本校は令和7年度に30周年を迎えました。27学級、生徒数819人（含特支5学級）の学校です。「創る 伸びる 喜ぶ」を校訓とし、ここ数年、非認知能力の育成に力を入れています。部活動も盛んで、10年連続で川口市中学校体育大会総合成績第1位の表彰を受けています。本校は、第2・5分科会の会場となっています。 【研究の見どころ】 本分科会では「中学生になった今、私にできること～高齢者など地域の人々との協力・協働大作戦～」を題材名とし、地域の一員としてよりよく関わり協働する方法について、生徒が「協力・協働」の視点を働かせながら主体的に課題解決を図る姿の実現を目指し、研究に取り組みました。 本時では、生徒が見いだした問題から課題を設定し、“協力・協働大作戦”の実践に向けて、必要感をもって粘り強く考えたり、話し合ったりする授業場面を公開します。併せて、題材の導入や概念的理理解を図る教材・教具の工夫、生徒を主体としたワークシート等、本題材ならではの課題に迫る研究を提案します。	TEL：048-298-0088 FAX：048-298-0093 【会場案内】  【交通】 電 車：埼玉高速鉄道 戸塚安行駅徒歩15分 【他県提案】 栃木・長野
第6分科会 B 衣食住の生活（食生活）	【会場】 学校名：久喜市立久喜中学校 所在地：埼玉県久喜市本町 4-1-1 【学校紹介】 本校は、久喜市中心部に位置する開校80年の中学校です。「志に生きる」を教育目標に掲げ、生徒一人一人のよさを認め、その可能性を伸ばす教育を推進しています。本年度は独自のカリキュラム「志プロジェクト」を展開し、新教科「情報・コミュニケーション科」を新設するなど、次世代を生きるために必要な資質・能力の育成に取り組んでいます。 【研究の見どころ】 第6分科会では、食生活を工夫し創造しようとする実践的な態度の能力の育成を目指し研究を進めてきました。学習指導要領の内容を忠実に実践することを方針として、シンプルかつコンパクトな題材計画を立案しました。特に「問題を見いだして課題を設定する」学習サイクルの充実におき、具体的な手立てを講じて実践を重ねてきました。当日は、「ハンバーグの調理失敗動画」から安全な調理手順について考え、自身の調理実習の計画を立てる授業を、ご覧いただく予定です。初任者・ベテランの先生でも「できそう・やってみよう」と思える授業を目標に授業を提案します。ご参観お待ちしております。	TEL：0480-21-0162 FAX：0480-24-1775 【会場案内】  【交通】 電 車：JR久喜駅・東武伊勢崎線久喜駅より1.3km 久喜駅西口発 中学校入り口下車徒歩1分または駅から徒歩約18分 ※自家用車での来校はご遠慮ください。 【他県提案】 神奈川・千葉

第7分科会 B 生活を豊かにする物の製作	【会場】 学校名：深谷市立幡羅中学校 所在地：埼玉県深谷市常盤町 38 【学校紹介】 幡羅地区は深谷市の北東部に位置し、旧中山道に沿って立木や草花などの緑に恵まれています。本校は、生徒数 566 名、21 学級（含特支 5 学級）の学校で、「高く志を抱き 心豊かにたくましく生きる生徒の育成」を教育目標として掲げています。今年度は特に非認知能力を育てる学級経営に力を入れ、生徒会活動や部活動にも日々意欲的に取り組んでいます。	TEL：048-571-0229 FAX：048-571-0328 【会場案内】 
	【研究の見どころ】 本分科会では、衣生活の「生活を豊かにする物の製作」を題材として研究してきました。その中で「生活を豊かにする」とは何かを追求し続け、快適・安全の見方・考え方を働かせながら、習得した知識・技能を活用しながら課題解決のための計画を立て、製作を行います。 製作物を教師側が1つに決めることなく、生徒1人1人が持つ自らの知識・技能と、自分の生活を豊かにするために必要な目的と照らし合わせながら決定することを大切にしました。本授業では、製作したものをそのままにせず、製作を振り返って実践の評価・改善を行う場面を公開いたします。	【交通】 自家用車：関越自動車道 花園ICより 9.2km 約 20 分 電車：JR 深谷駅北口より 2.9km 徒歩約 30 分（またはタクシーで約 9 分） 【他県提案】 群馬・茨城
第8分科会 C 消費生活・環境	【会場】 学校名：小川町立東中学校 所在地：比企郡小川町小川 1767-1 【学校紹介】 小川町は、埼玉県のほぼ中央部に位置し比企丘陵の自然に囲まれている本校は、生徒数 252 名 10 学級（含特支 2 学級）の学校です。古代文化の平松台遺跡の上に建ち、教室の窓から秩父の山々を望むことができます。小川町では「つながろう小川 知る！学ぶ！活かす!!!」をテーマとし、「おがわ学」（地域学）で小・中・高校の児童生徒が小川町の文化や歴史、産業について学び、各教科と関連づけた探究的で協調的な学びへと進み、地域活動への参加や地域課題の解決に取り組んでいます。	TEL：0493-72-0442 FAX：0493-74-5170 【会場案内】 
	【研究の見どころ】 第 8 分科会では、他者との対話を生かして多様な観点から問題を見だし、環境や社会とのつながりに配慮した責任ある消費行動ができる生徒の育成を目指し、研究を進めてきました。 当日は、生徒が他者との対話を通し、消費生活における自身の問題発見・課題設定に取り組む授業をご覧いただく予定です。	【交通】 自家用車：関越自動車道嵐山小川 IC より 6.5km 約 15 分 電車：東武東上線小川町駅より約 2.6km 徒歩約 40 分・バス（道の駅おがわまち）約 30 分・タクシー約 6 分 【他県提案】 東京

第9分科会 教育課程	【会 場】	学校名：さいたま市立春野中学校 所在地：さいたま市見沼区春野 2-2-1	TEL：048-682-3951 FAX：048-682-3952
	【学校紹介】	さいたま市は市内10区に分かれており、本校が設置されている見沼区は2番目の広さを誇り、豊かな自然と、計画的に開発された住宅街が調和したエリアです。本校は、生徒数426名、14学級（含特支2学級）の学校です。「自他共愛」を学校教育目標と掲げ、今年度は心理的安全性が確保された学校を、教職員・生徒・保護者・地域が一体となってつくってまいります。自愛の心、共愛の心をバランスよく育むことが大事であると考えております。会場は技術分野・家庭分野共に本校で実施いたします。	
	【研究の見どころ】	第9分科会では「未来社会を切り拓く力を育む教育課程の研究」を研究主題とし、3年間を見通した「問題発見・課題解決学習」の系統的な教育課程を研究してまいりました。技術分野・家庭分野の双方で、個別最適な学びと協働的な学びを一体化させた「創造する学び」を核に、多様な他者と協働して主体的に意思決定し、行動できる生徒の育成を目指し研究を進めてきました。 技術分野と家庭分野における「3年間の学びの積み重ねを活かした授業」を公開します。継続的な学びを通して、生徒が生活や社会の中から課題を見出し、よりよい解決策を創造しようとする姿や、その成長の軌跡をぜひご覧ください。	
	【会場案内】		
	【交通】	【交 通】 自家用車：東北自動車道岩槻ICより4.1km 約9分 電 車：JR 東大宮駅より2.2km （徒歩約40分またはバスで約11分）	
	【他県提案】	なし	

9 大会諸経費

- 大会参加費（資料代）…………… 4,000円
- 昼食代（希望者、一食飲み物付き 11/19、11/20）… 1,080円／食
- 宿泊費（希望者 ※大会事務局や旅行会社からの斡旋はありません）

10 参加申込み

- (1) 申し込み方法 インターネット
- (2) 申し込み期限 令和8年11月5日（木）
- (3) 申し込み先 URL：https://ajgika.ne.jp/~saitama/
 （埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会 HP）
 ※ HP のトップページに申し込みページのリンクがあります。
 そこから申し込みページにアクセスできます。

11 問い合わせ先

大会事務局

- 第65回関東甲信越中学校技術・家庭科研究大会埼玉大会 運営部長 金子慎一郎（教頭）
 さいたま市立慈恩寺中学校 〒339-0002 埼玉県さいたま市岩槻区裏慈恩寺505
 TEL：048-794-1141 FAX：048-795-0374 E-mail：sin_kaneko@yahoo.co.jp
- 埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会 事務局長 伊藤 誠（教諭）
 春日部市立春日部南中学校 〒344-0026 埼玉県春日部市武里中野746
 TEL：048-737-2869 FAX：048-734-9417 E-mail：saitamagikaken@gmail.com